

# 第一回荒尾市民病院あり方検討会議事録要旨

◇日 時；平成22年8月26日（木）14時から16時まで

◇場 所；荒尾市役所 3階31号会議室

◇出席者；【あり方検討会委員】・・・8名

小野友道氏（熊本保健科学大学学長）、高橋洋氏（荒尾市医師会会長）、藤崎龍美氏（荒尾市社会福祉協議会会長）、鴻江圭子氏（荒尾市行政改革推進審議会）、下條寛二氏（株式会社 近代経営研究所専務取締役）、池田洋一郎氏（有明保健所所長）、生野繁子氏（九州看護福祉大学看護学科長）、立石和裕氏（立石公認会計士事務所代表）

事務局；【荒尾市】・・・6名

山崎総務部長、堀江総務課長、岩下財政課副主任、浅田政策企画課長、田川室長、林田副主任

【荒尾市民病院】・・・5名

大嶋病院事業管理者、荒牧副院長兼事務部長、島崎看護部長、近藤事務部次長兼経営企画課長、野村総務課長

以上、出席者計 19名

## 1. 開会

浅田政策企画課長が開会を宣言。

## 2. 会長挨拶

昨年度は、合計4回の検討会を開催し、市民の立場に立った幅広い意見交換を行い、大所高所から荒尾市民病院の中核病院としての役割や、病院経営の効率化について審議を行った。その後、意見集約結果である提言書を、荒尾市民病院あり方検討会として前畑荒尾市長に対し提出したところである。

今年度のあり方検討会は、今回を含め計2回の開催を予定しているが、荒尾市民病院が安定した経営の下で良質な医療を継続して提供できる病院となるためにも、平成21年度の決算状況や中期経営計画の実施状況等について点検・評価を行っていきたい。

## 3. 荒尾市民病院事業管理者挨拶

昨年度提言頂いた内容を真摯に受け止め、現在、地域全体の医療確保を図りながら中期経営計画の推進に取り組んでいるところである。この結果、平成21年度決算では単年度黒字とすることが出来たが、今後もあり方検討会で様々なご意見をいただきながら、医療の質の向上や経営効率化を目指していきたい。

## 4. 検討事項

### (1) 平成21年度決算見込み及び平成22年度の収支状況について

荒尾市民病院近藤事務部次長兼経営企画課長より、資料1及び資料2に基づき、平成21年度の決算見込み及び平成22年度6月末時点の収支状況について説明を行い、意見交換した。

(主な意見)

- 地域医療支援病院に関する事務的スケジュールはどのようになっているのか。
- 地域医療支援病院については、既に承認を受けているところであり、毎年、10月頃に熊本県へ報告書を提出しなければならない。
  
- 外来患者が減少した理由としては、地域の病院との連携が図られたということか。
- 外来患者数が減少した理由としては、病診連携を積極的に行った結果、地域の病院との連携が図られたことによる成果であると見込まれる。現在のところ、紹介率及び逆紹介率については順調に推移している。

## (2) 荒尾市民病院中期経営計画の取組状況について

荒尾市民病院近藤事務部次長兼経営企画課長より、資料3に基づき、荒尾市民病院中期経営計画の実施項目に基づく進捗状況について説明を行い、意見交換した。

(主な意見)

- 医学奨学生とは定期的にコンタクトを取っているのか。
- 医学奨学生とのコンタクトについては、現在のところ、毎月、市民病院の情報紙を送付しており、毎年申請の際に審査を行っている。今後、医師を確保のために、定期的に直接会う機会を設けるなど、連絡を密に図っていく。
  
- 能力給制度の進捗状況はどのようになっているのか。
- 能力給制度については、現時点では実施していないものの、昇給等で対応したいと考えている。
  
- 救急医療の進展については、地域医師会の貢献に伴う地域医療との連携強化が大きな要因であると考えられる。
  
- 医師事務作業補助体制の具体的内容は、どのようになっているのか。
- 医師事務作業補助体制については、主に診断書等の書類作成業務を行っている。患者の退院時には、生命保険手続等で大量に書類作成業務が発生するため、医師の負担軽減に効果を上げている。また、従事者の医療知識向上を図るため、脳外科等の回診の付き添いを行っている。
  
- 院内保育所の運営状況は、どのようになっているのか。
- 院内保育所については、現在6名を預かっており、10月には新たに1名入園の予定である。今後も、アンケート調査等を実施しながら利用促進を図りたい。
  
- 院内保育所については、荒尾市民病院職員の利用に留まらず、他の医療関係従事者など、利用拡大に向けた方向で検討できないか。
- 院内保育所については、市内医療機関従事者への利用拡充を要望する意見も出されている所だが、設置した本来の目的である医師・看護師の確保を考慮しながら、今後の可能性を検討する必要がある。また、現状では、市内に9つの保育園が存在するが、市内の待機児童数は0名であり、現在の施設数で充足していると思われる。

- 薬品等の材料費の原価関係が若干上昇しているようだが、他の医療機関の価格等と比較しながら経費削減交渉は行われているか。国立病院は、この取り組みを通じて一定の成果を収めているようである。
- 国立病院は機構が一つであるが、自治体病院は別々で薬品等を購入しているため、全国自治体病院の薬価データを活用しながら、経費削減に取り組みたい。
- ジェネリック医薬品の利用が全国的に PR されているところだが、価格競争により、逆に先発品の方が価格が安いこともあるので、先発品とジェネリック医薬品とを比較しながら導入を行った方が良い。

### (3) 平成21年度荒尾市民病院の経営分析について

立石委員より、KPI(Key Performance Indicator)に着目した平成21年度の決算状況の分析結果について説明がなされ、その後意見交換した。

(主な意見)

- 病床利用率や平均在院日数などが目標値に到達していないが、理由は何か。
- 理由は不明だが、平成21年7月～8月に患者数の減少が見られた。平成22年度については、前年よりも入院患者数が増大している。7対1看護では平均在院日数が19日以内であることが必須条件であるため、今後も目標達成に向けて取り組んでいきたい。医師確保については、熊本大学等を通じて様々な努力を行っているが、即時には成果が出ない分野である。
- 荒尾市民病院の経営分析については、経営効率化の観点から、決算値の前期比較や中期経営計画の目標値と実績値の比較がされており、非常に良くまとめている。また、事業収支項目(裁量的項目、拘束的項目)、行政支出項目、拘束的項目などの視点で、比較分析しており、非常に理解しやすい資料である。
- 医師の増加に伴う増収効果が明確に表れていないが、現在は過渡期であると見込まれるため、今後収入の増加に繋がると思われる。

## 5. 荒尾市民病院中期経営計画の点検・評価について

荒尾市民病院中期経営計画の平成21年度における点検・評価報告書としての取りまとめを行うために、総務省の公立病院改革ガイドラインが示している改革テーマを中心に意見交換した。

### (1) 荒尾市民病院が目指す医療(急性期医療、救急医療、地域医療)について

- 救急指導医が1名在籍しているが、平成22年度に急性期病院としての指定を受けることは可能か。
- 急性期病院としての指定については、看護師等の配置基準を満たす必要があるが、現状では看護師を集めることが困難なため、少なくとも平成22年度は指定を受けることは困難である。
- 看護師の募集については、関東、関西の病院からの勧誘が多く、人材が都市部へ流

れている。また、募集時期も早期化の傾向にあることから、地域に繋ぎ止める方法を考えなければならない。

- 看護学生自体も一度は都市部での勤務を希望する意見が多く、新卒者を地域で確保することが困難な状況ではないか。
- 看護学生の奨学金制度により一定の募集効果を得ているものの、他の看護学校や医療機関の奨学金制度との競合等もあるので、看護師の確保については今後とも積極的に取り組みたい。

## **(2) 荒尾市民病院の再編・ネットワーク化について**

- 通常、病院の建設には3年～5年の期間を要する。あり方検討会の中で、「建設」という文言を含めて検討を進めてはどうか。
- 現在の建物における廊下の幅などは、旧建築基準に基づくものである。建設に当たっては、まずは経営改善を行ってから、将来的に質の高い医療を提供するためにも検討したい。また、建て替えを行うにしても、将来的な費用負担やその効果を検証する必要がある。
- 再編・ネットワーク化の取組は、どのように考えているのか。
- 病院の再編化については、全国的にもまだ例は少ない。荒尾市民病院としては地域がん診療連携拠点病院として連携を図ることで、他の医療機関との再編・ネットワーク化を目指したい。

## **(3) 経営形態の見直しについて**

- 平成21年度から地方公営企業法を全部適用しており、病院事業管理者を中心に経営改善に向かって取り組まれている状況であり、適当な経営形態だと思われる。荒尾市民病院の建て替えについては、投資額と収支への影響について綿密に分析する必要があり、また、将来的にどのような形で地域に根ざしていくかも併せて検討する必要がある。
- 経営形態については、来年度を目処に見直すとガイドラインには記載されているが、現在の経営状況を見る限りでは、見直す必要が無いと思われる。

## **6. その他**

浅田政策企画課長より、次回のあり方検討会の開催については、11月を予定しており、日程については後日連絡する旨を説明した。また、議事録等については事務局で案を作成し、各委員が確認した上で、ホームページへ掲載する旨を説明した。

## **7. 閉会**

小野会長が午後4時に荒尾市民病院あり方検討会の閉会を宣した。

以上